

## 居心地の良いクラブハウスを計画的につくる

### ～NPO法人さいたまスポーツクラブ「SSC あすも」(埼玉県さいたま市)の取材より～

#### 1. 「クラブハウス」はクラブそのものである

クラブ自身を象徴する「クラブハウス」がクラブには必要であり、「クラブ＝クラブハウス」と言っても過言ではありません。なぜなら、クラブハウスは、クラブライフを創出する器であり仕掛けだからです。メンバーの帰属意識の醸成はもちろん、メンバー以外の住民へのPR効果も抜群にあります(特集の事例参照)。

クラブハウスを新規で建築する場合、主な構成要素と基本理念は以下のようになっており、借家・借室でも参考になります。NPO法人さいたまスポーツクラブ(以下、さいたまSC)のクラブハウス「SSC あすも」の事例をもとに、3で解説・写真を加えます。

- 主な構成要素**
  - 1) エントランス(受付・事務室、インフォメーションスペース、売店など)
  - 2) スポーツおよび周辺空間(ロッカー・シャワールーム、スタジオ、トレーニングルームなど)
  - 3) 交流スペース(カフェ、ロビー、カウンター・キッチン、ミーティングルームなど)
  - 4) リラクゼーションスペース(テラス、パウダールーム、映像 など)
  - 5) 外回りのサービススペース(外壁、看板、駐車場、倉庫、ゴミ置き場、など)
  
- 主な基本理念**
  - 1) 居心地が良くメンバーが集いitくなる雰囲気
  - 2) コミュニケーションが生まれる場
  - 3) スポーツで「見る・見られる」関係
  - 4) 我が家のような愛着・帰属意識の醸成
  - 5) あらゆる世代・属性の円滑な利用

「スポーツコミュニティ」という言葉に象徴されるように、スポーツを通じた人と人とのコミュニケーションを育む場がクラブハウスです。日常的なクラブライフに必要なクラブハウスとは、「ハウス」という名のとおり、規模的にも建物の雰囲気も住宅に極めて近いものである必要があります。クラブメンバーのためのクラブハウスは事務室やロッカールーム等の機能的な空間の他に、居心地の良い空間をいかにつくるかが重要なポイントとなります。

例えば、住宅であれば、寝室・子ども部屋・キッチン・浴室等の機能空間の他に、家族のためのリビングルームやダイニングルームの居心地の良さが、その住宅の重要な要素であるのと同じことです。家族によって住宅に個性が表れるように、クラブにおいても自分たちの居心地の良い場とはどのような空間かを考えることが、クラブハウスづくりの第一歩です。今回取材した「SSC あすも」は、以上のような居心地の良さをつくるために設計段階から十分に考えられた施設となっています。

#### 2. NPO法人さいたまスポーツクラブにみる、実現への意思と計画力

最初から、素晴らしいクラブハウスをもつクラブは皆無です。重要なことは、どのようなクラブハウスを何年後にもつのか明確な意思決定をクラブがすることです。段階的な計画をたて、そのための準備を今からしておくことも重要です。

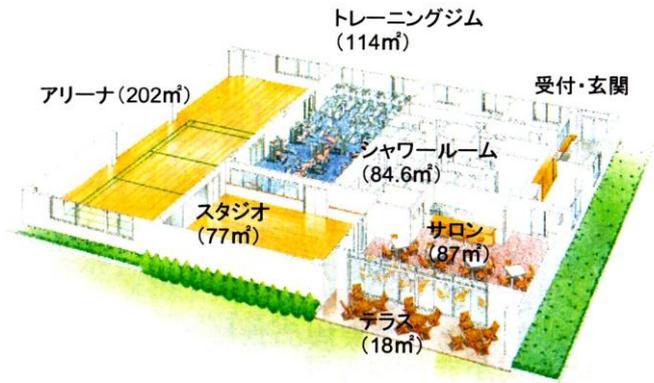
さいたまSCは、元大宮アルディージャゼネラルマネージャーの清雲氏が中心となり、設立の時から欧州型のクラブをイメージしてクラブハウスのコンセプトを検討してきました。クラブハウスの設計や空間についても、先進事例の視察に出向きながら研究を続けました。設立4年後の2007年4月には「クラブハウス建設準備委員会」を発足させました。同じ年に、クラブで一部使っていた給食センター(所有はさいたま市)の取り壊しが決まり、その跡地利用の事業者として応募したところ秋に採択されました。クラブで準備をし

ていたからこそ情報が入手でき、タイミングよく話が進んだと考えられます。

さいたま市が総合型地域スポーツクラブを支援するスタンスもあって、具体的には、2008年度より約360坪の土地を月20万円で借りることができました。期間20年間の土地賃貸借契約で、賃借料は条例の取り決めによります。スポーツ振興くじ助成金のクラブハウス整備事業が同年から始まり施設建築費の目途もたちました（資金調達の詳細は4）。

市との契約後、建設地周辺住民への説明会を行いました。駐車場や営業時間についての質問はありましたが、住宅地から少し離れていることと自治会長に事前に説明をきちんとしたことで、反対意見は出ませんでした。むしろ、NPO法人による地域のためのスポーツクラブということで、住民から期待を寄せられていることがわかったのです。

メンバーに建築の専門家がいて設計を依頼することができましたが、限られた予算内で納得がいくまで何度も書き直しました。2008年12月には、基本計画（設計、資金、工期日程）を決定し、2009年1月に着工、2009年6月、「SSC あすも」（さいたまSC、明日も、スポーツ、もりだくさん）はオープンしました。



敷地面積：1187.95㎡ (359.98坪)

建築面積：686.77㎡ (208.11坪)

「SSC あすも」見取り図

### 3. 「フレンドリーな空間＝居心地の良い空気感」のつくり方

お金をかけた立派な建物が、必ずしも居心地の良い場所とはならない事例は数多くあります。外観は立派でも中に入ると何となく落ち着かず、なじめない建物があります。それに対して、中に入った瞬間、とても居心地が良く、ついつい長居をしてしまうということもあると思います。この違いは何でしょうか。

その答えの一つは、当たり前のことですが、管理の容易さからではなく、徹底して利用者の視点から空間を設けることです。このような居心地の良い空気感（フレンドリーな空間）のつくり方を、「SSC あすも」の取材を通して、「ホスピタリティ」「交流」「見る・見られる関係」「シンボル」「にぎわい」の5つの視点を基に考えてみましょう。

#### (1) ホスピタリティ

クラブハウスの顔となるのが受付です。「SSC あすも」に入るとオープンなカウンターが受付になっており、気楽にスタッフに声をかけることができます。この受付の雰囲気がクラブハウスのイメージをつくってしまうといっても過言ではありません。「SSC あすも」からは、運営者と利用者という垣根を越えたホスピタリティを感じることができます。（写真1・2）

<写真1>



オープンカウンターの受付

<写真2>



スタッフの笑顔に勝る物なし

## (2) 交流

誰もが気軽に交流できる場の中心となるのが、サロンやカフェ等の多目的スペースです。

普段はメンバーのアフタースポーツの休憩・コミュニケーション・飲食の場所として利用され、また、地域交流等の様々なイベントで利用することもできます。オープンキッチンを設置することで、アットホームな手づくりパーティー等利用の幅を広げることも可能です。

グラウンド等がある場合は、グラウンドとクラブハウスを繋ぐ外部のテラスも重要な交流空間になります。「SSC あすも」では交流の場がふれあい広場と名付けられ、子どもに付き添う保護者の待つ場所であり、母親たちの井戸端・交流スペースとなっている光景が見られました。

また、大宮アルディージャのジュニアユース&ユースが近くの人工芝のサッカー場を利用しているため、練習後の食事の場として利用されています。

ちなみに私たちの取材もこのふれあい広場で行われました。まさに様々なふれあいの場所となっています。

(写真 3・4)

<写真3>



オープンキッチンのあるふれあい広場

<写真4>



お母さんたちの交流の場

## (3) 見る・見られる関係

メンバーが互いの活動を意識し利用者同士の交流を促すためには、クラブハウス内の様々な空間の視覚的な関係性（見る・見られる関係）をつくる必要があります。

自分の興味以外のスポーツに触れることにより、新たな可能性を開くことにもなります。また親に見守られることによって子どもは成長してゆきます。

「SSC あすも」ではふれあい広場からスタジオが、スポーツジムからはスタジオやアリーナが相互に垣間見えることにより、クラブ内の雰囲気全体に伝わるよう配慮され、クラブとしての一体感をつくりだしています。(写真 5・6)

<写真5>



ふれあい広場からスタジオの子どもを見守るお母さん

<写真6>



トレーニングジムからスタジオをみる

#### (4) シンボル

クラブハウスはクラブのシンボルでもあります。「SSC あすも」は建物外観やロッカー等の備品が地元Jリーグクラブの大宮アルディージャのカラーであるオレンジ色で統一され、さいたま SC のシンボルカラーとなっています。

このようにシンボルカラーを決めて様々な場面に使用することにより、メンバーの帰属意識が醸成されることが期待されます。(写真7・8)

<写真7>



外観のシンボルカラー

<写真8>

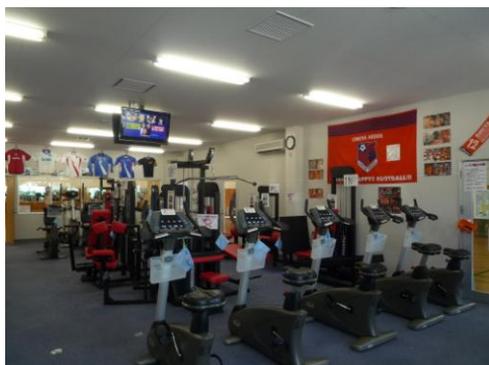


オレンジ色のロッカー

#### (5) にぎわい

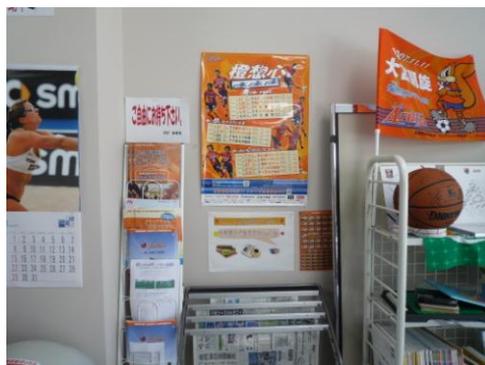
クラブの情報に関するコーナーや掲示物が、雰囲気づくりとして内部空間ににぎわいを生み出すとともに、クラブとしての参加意識を高めることに役立っています。(写真9・10)

<写真9>



トレーニングジムの雰囲気づくり

<写真10>



サッカーやバスケットなどいろいろなスポーツ

## 4. 資金調達の方法

さいたま SC の「SSC あすも」は、スポーツ振興くじ助成金（以下、toto 助成金）の「地域スポーツ施設整備事業」の「クラブハウス整備事業（新築事業）」に申請しました。この助成事業への申請には、市を通じて申請する方法もありますが、NPO 法人であったため、クラブとして直接申請することができました。申請の際には膨大な書類作成が必要になりますが、助成金の上限である 6,000 万円（4/5 助成）を活用でき、設備費等含め 1 億 2 千万円で完成させました（クラブハウス内の備品等助成金の対象外となる経費は助成金以外の資金を充当）。

助成金以外の 5,000 万円は銀行から、1,000 万円は関係者から借りました。toto 助成金を申請する場合、日本スポーツ振興センターによる事前事後の視察があり契約内容等のチェックがあります。銀行からの借入成功ポイントは、クラブ役員に借入・返済の実績がある会社経営者がいたからと考えられます。銀行から借入れの場合、着実な返済計画を求められ、計画が現実的か、きちんと利益が出せるかが重要なポイントになります。

例えば 100 坪程度の土地に、toto 助成金 4,000 万円、自己資金 1,000 万円で、延床面積 200 m<sup>2</sup>の居心地の良いクラブハウスをつくることは十分可能です (toto 助成金の基準により延床面積で助成対象経費上限・助成金上限が決まります)。自己資金に工夫と努力が必要になりますが、決して無理な額ではありません。自己資金の部分は、一部を市区町村の補助金や助成金を活用して組み合わせることも可能です。

toto 助成金の「クラブハウス整備事業」は、クラブハウスの新築だけでなく、改築や増築による整備にも使用できます (新築事業)。また、既存の施設にクラブハウスとしての機能を持たせるための改造に使うことも可能です (改造事業)。ただし、改造事業の場合助成率は下がります (3/4 助成)。会員の寄付による資金調達の可能性もあります。小口で多人数から寄付を集め、一定額以上の寄付をもらったら、建物の一部に名前が残るような計らいも効果的です。神社の塀に名前を刻むのと同じような仕掛けです。

\*スポーツ振興くじ助成金「地域スポーツ施設整備事業 クラブハウス整備事業」の申請にあたっては、諸条件がございますので、詳細については、日本スポーツ振興センターHP「toto、スポーツ振興基金と助成事業 (<http://naash.go.jp/sinko/>)」をご覧ください。



## 5. これからクラブハウスをつくりたいクラブに向けて

- クラブハウスは家族における我が家と同じです。クラブとして愛される建物にするためには、規模や設備が重要なのではなく、予算を考慮しながら、クラブにとって本当に必要な場をつくることです。初期の計画段階から、建築の専門知識を持ったアドバイザーに気軽に相談してみましょう。優秀で情熱を持ったスポーツ好きの方が必ずいらっしゃるはずです。
- 土地には、都市計画法・建築基準法による利用規制があります。クラブハウスをつくりたい候補地があればその確認をしましょう。農地転用は農地法などの制限があります。自治体によって規準は異なりますが、多くの方が利用する施設としてスポーツ施設はハードルが高いです。しかし、許可を得る手続きに時間がかかりますが、建築不可の場合でも可能になるケースもあります。
- 設計がある程度まとまる段階に地域住民対象のワークショップを開催し、地域住民の声を反映させましょう。手間はかかりますが、こうすることで、クラブやクラブハウスへの愛着が高まります。可能であれば、建設時に住民の手で何らかの作業 (例えば、ペンキ塗りやタイル貼りなど) で参加できるようにすれば、我が家のように愛着が一段と増し、帰属意識につながります。

(田辺 芳生 ㈱プライム建築都市研究所代表・一級建築士、  
クラブハウス計画アドバイザー、Email: [prime@blue.ocn.ne.jp](mailto:prime@blue.ocn.ne.jp))  
協力: NPO 法人さいたまスポーツクラブ、加藤裕之 埼玉県クラブ育成アドバイザー

### 【NPO 法人さいたまスポーツクラブ プロフィール】

1. 設立年 平成 15 年 4 月
2. 地域 地区人口: 見沼区 約 157,000 人 (平成 22 年 6 月現在)  
特徴: さいたま市の北東部にあり、首都圏のベッドタウンになっているが自然は豊か
3. クラブ 会員数: 967 名 (平成 22 年 7 月現在)  
予算規模: 約 8,900 万円
4. 連絡先 (視察希望の際は、事前にメール・電話・FAX にて、事務所までお問い合わせください)
  - ◆クラブハウス「SSC あすも」 〒337-0052 埼玉県さいたま市見沼区堀崎町 12-39  
TEL: 048-797-5551 FAX: 048-797-5552
  - ◆事務所 〒337-0053 埼玉県さいたま市見沼区大和田町 2-1322-2  
TEL: 048-689-9235 FAX: 048-689-9236  
Email: [ssc-minuma@nifty.com](mailto:ssc-minuma@nifty.com) URL: <http://nposaispo.sakura.ne.jp/>